

マルチトランスシーバ取扱説明書

F9190E42

F9190F42

はじめに

このたびは、弊社のマルチランシーバをお買い上げいただきありがとうございます。
本書はF9190E42/F42（以降、本製品）の基本的な取り扱いについて説明しています。
本製品を使用する前に本書をお読みになり、正しい取り扱いをしてください。

・VCCIについて

この装置は、第一種情報処理装置(商工業地域において使用されるべき情報処理装置)で商工業地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しております。

従って、住宅地域またはその隣接した地域で使用すると、ラジオ、テレビジョン受信機等に受信障害を与えることがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

1.概要

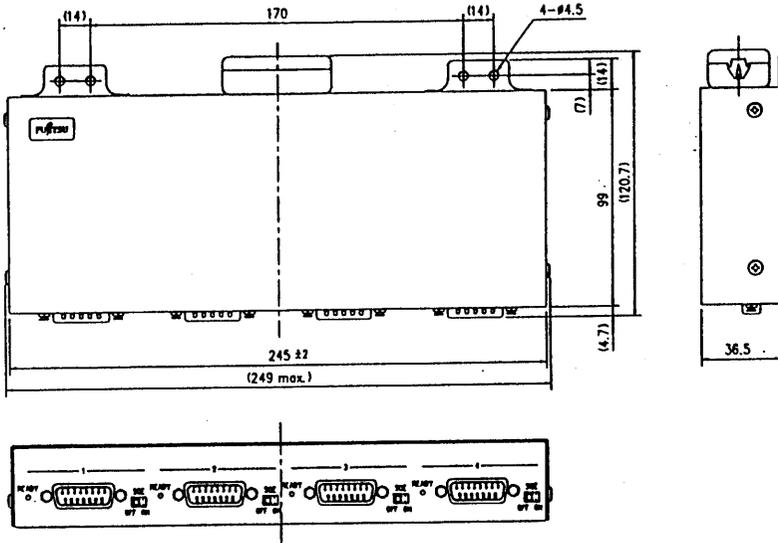
本製品は、ISO8802-3規格CSMA/CD方式のLANに使用される4ポートのMAU(Media Attachment Unit)で、伝送路の種類にあわせて10BASE5用(F9190E42)、10BASE2用(F9190F42)の2機種が用意されています。

1.1 取り扱い上の注意

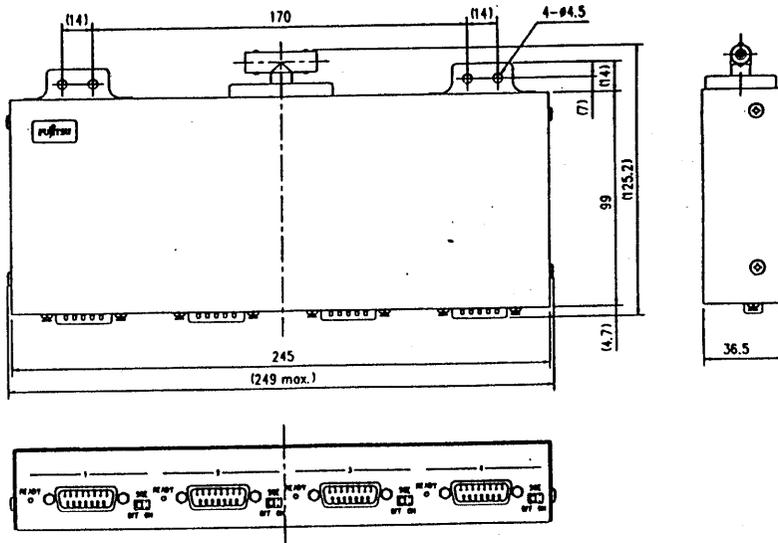
- 極端な高温、あるいは低温状態や温度変化の激しい場所での使用は避けてください。
- 直射日光のあたる場所や発熱機器の付近での使用は避けてください。
- 湿気やほこりの多い場所や衝撃や振動の加わる場所での使用は避けてください。
- 内部に液体や金属類などの異物が入った状態で使用しないでください。
- 薬品の噴霧気中や薬品にふれる場所での使用は避けてください。
- 本製品を分解、解体および加工しないでください。本製品の分解、解体、加工による怪我や事故について、弊社は責任を負いません。
- モータなど強い磁界の発生する装置のそばでの使用は避けてください。
- 本製品のケーブルを抜き差しする場合は必ずノードの電源をOFFとしてください。
- 本製品に接続したケーブル類は無理に引っ張らないでください。
- 人命に関わるようなシステムに本製品を使用する場合、システムで冗長をはかるなどの対策を行ってください。

1.2 外 観

(1) F9190E42の外観を以下に示します。



(2) F9190F42の外観を以下に示します。



2. 操 作

(1) トランシーバの幹線同軸ケーブルへの取付

- ・ F9190E42 専用工具を必要としますので、販売店にご相談ください。
(取付作業は有償となります。)
- ・ F9190F42 10BASE2用同軸ケーブルをT型アダプタに接続してください。

(2) ノードとトランシーバとの接続

- ・SQEスイッチは、接続するノードがレピータ装置または10BASE-T用HUB装置の場合に限り、OFFとしてください。
- ・ノードと本製品のAUIインターフェースをトランシーバケーブルを用いて接続し、スライドロックで固定します。なお、トランシーバケーブルの脱着は、必ずノードの電源をOFFにしてから行ってください。
- ・ノードの電源をONにすると、マルチトランシーバのREADY表示用LED（緑色）が点灯します。本製品はこの状態でデータ伝送可能となります。

3. トラブルシューティング

(1) マルチトランシーバの緑色LEDが点灯しない。

→ ノードに電源は入っていますか。

トランシーバケーブルは正しく接続されていますか。

これらが正しく設定されているにもかかわらずマルチトランシーバの緑色LEDが点灯しない時は故障の可能性がありますので、販売店にご相談ください。

(2) どのポートを使用しても通信ができない。

→ 伝送路側（10BASE5または10BASE2）は正常ですか？

ノードの通信環境は正常ですか？

これらが正常であるにもかかわらずどのポートを使用しても通信ができない時は故障の可能性がありますので、販売店にご相談ください。

(3) 特定のポートで通信ができない。

特定のポートで通信ができない時は故障の可能性がありますので、販売店にご相談ください。

4. 各種条件

(1) 温湿度

動作時 0～40℃ / 20～80%RH（結露しないこと）

保存時 0～50℃ / 8～90%RH（結露しないこと）

(2) 電気条件

入力電圧 DC 9.8V ～ 15.75V（消費電流 300mA / ポート 以下）